

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

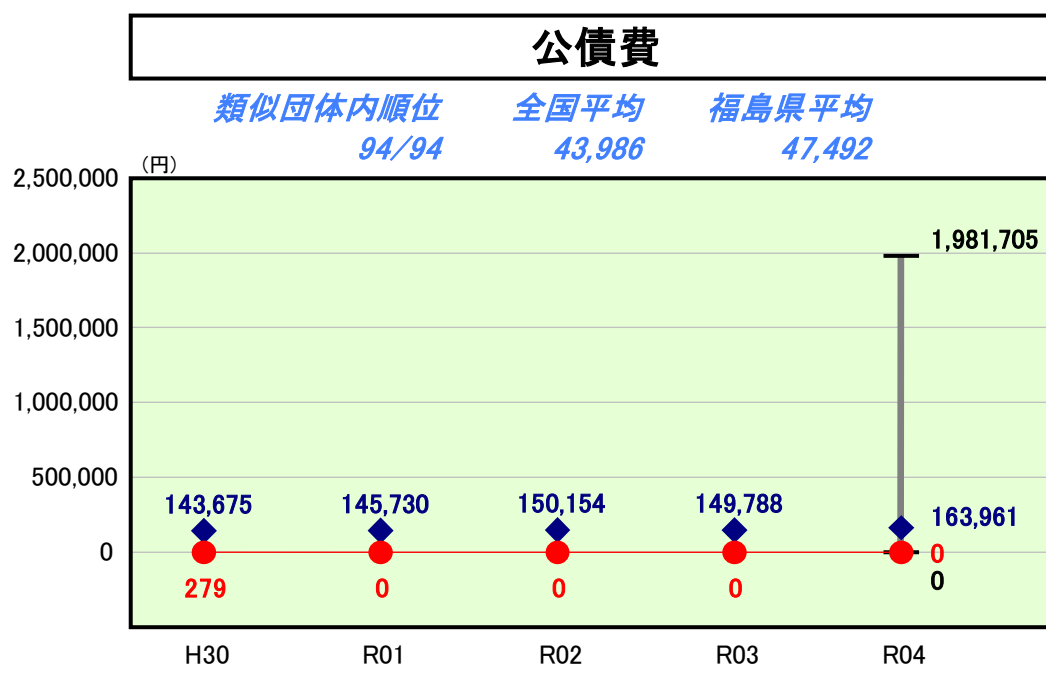
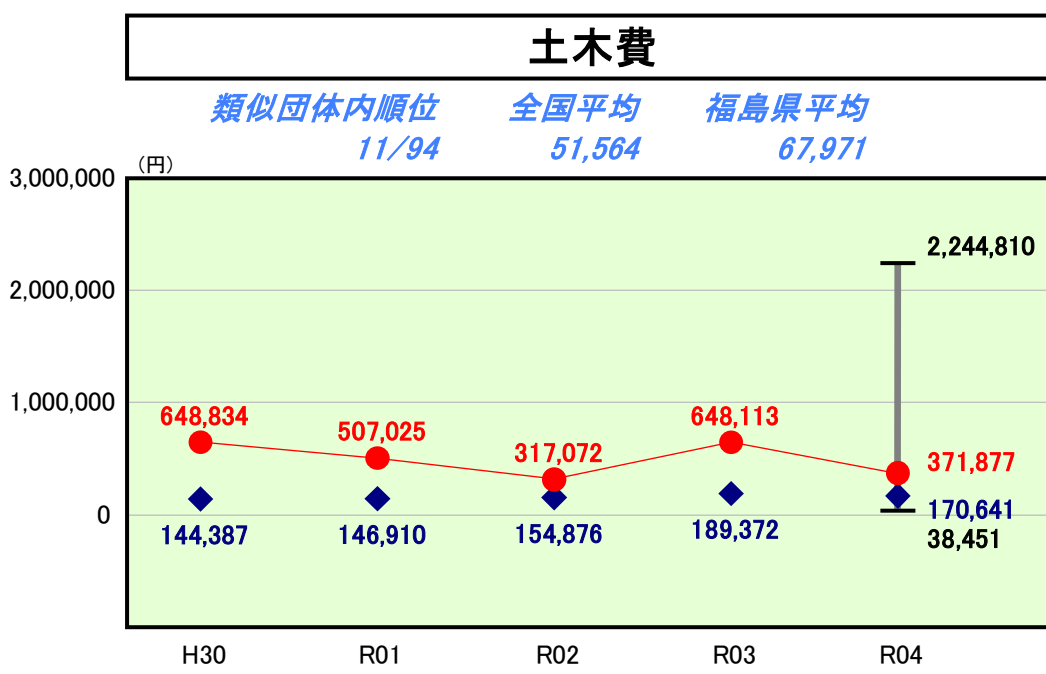
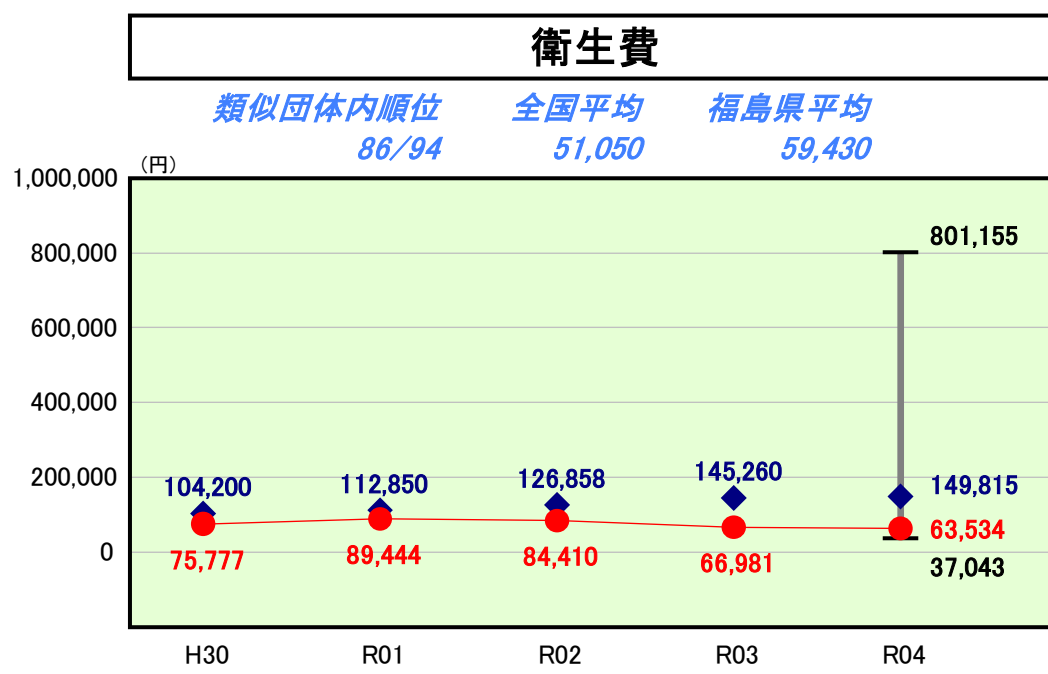
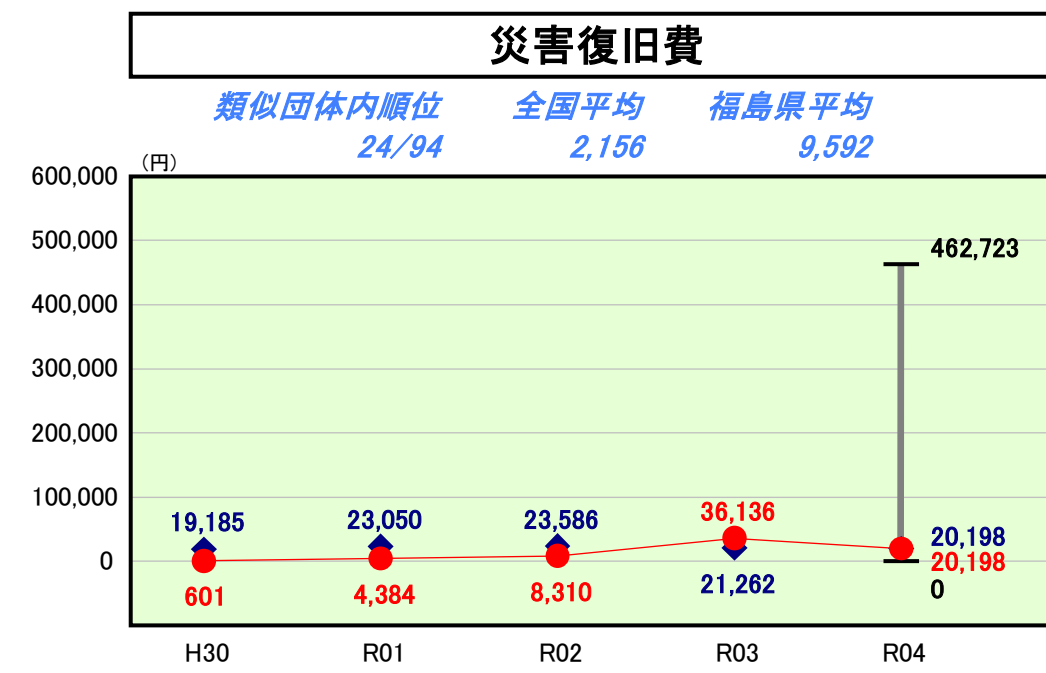
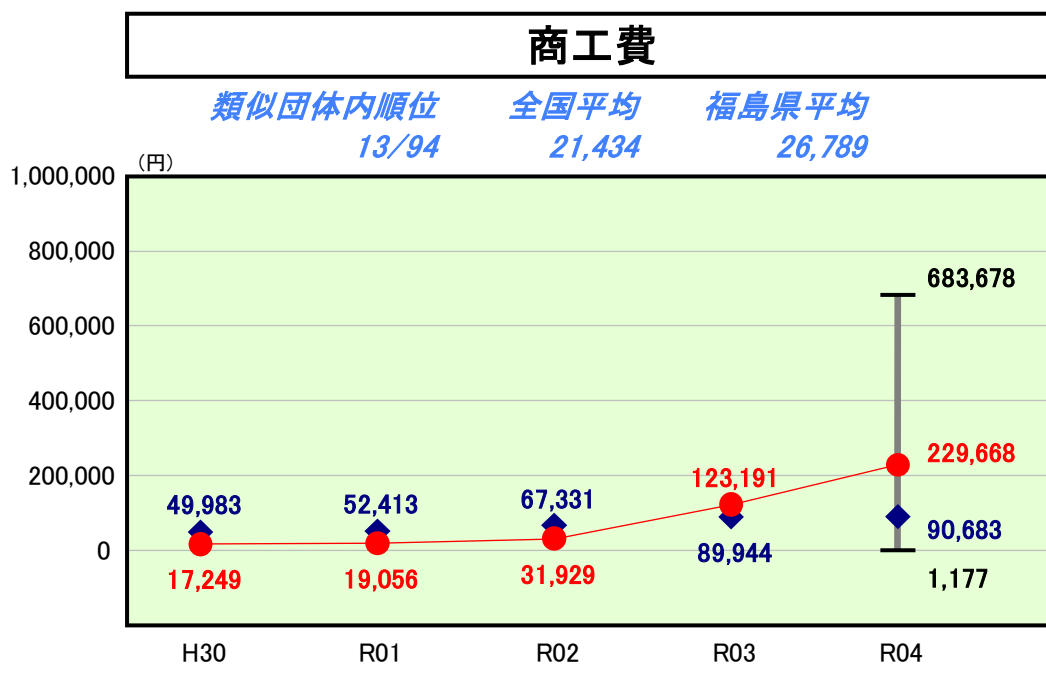
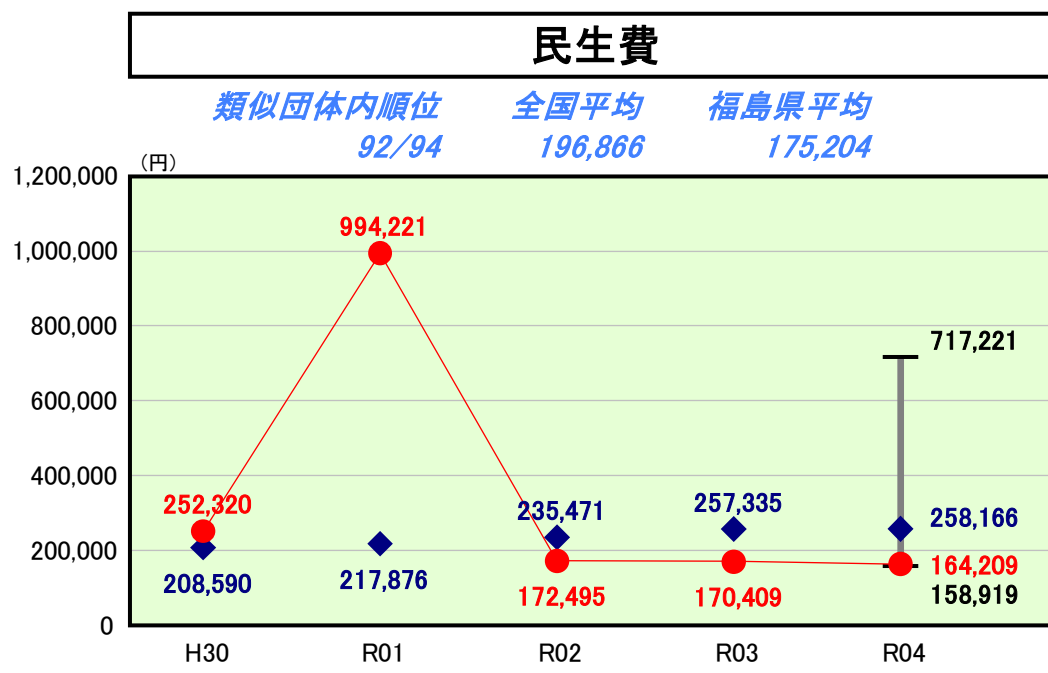
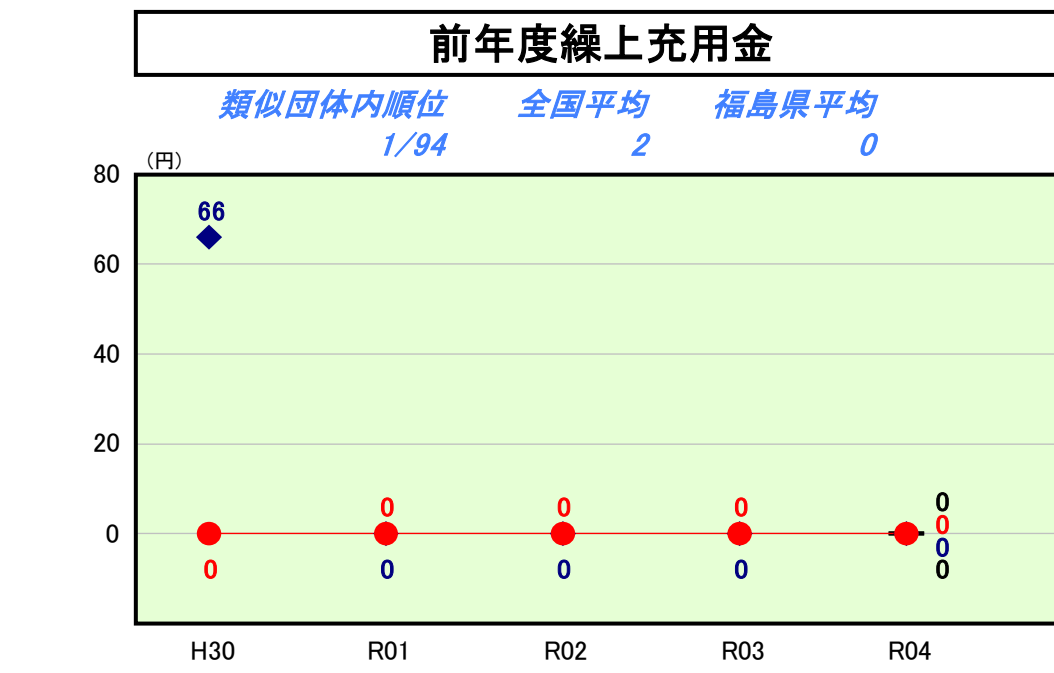
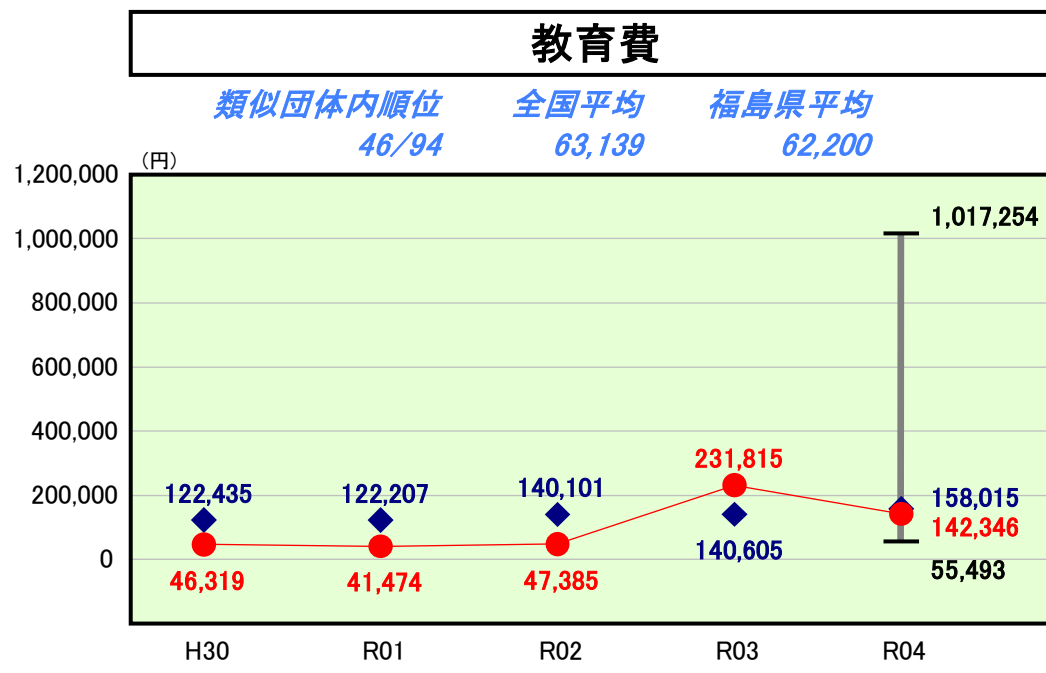
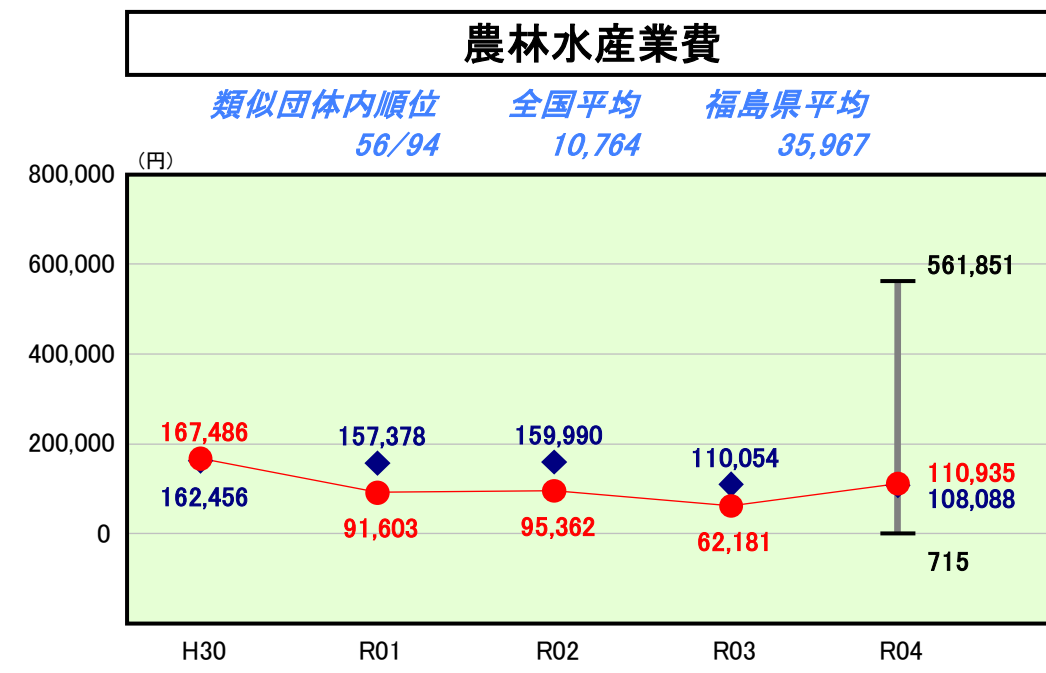
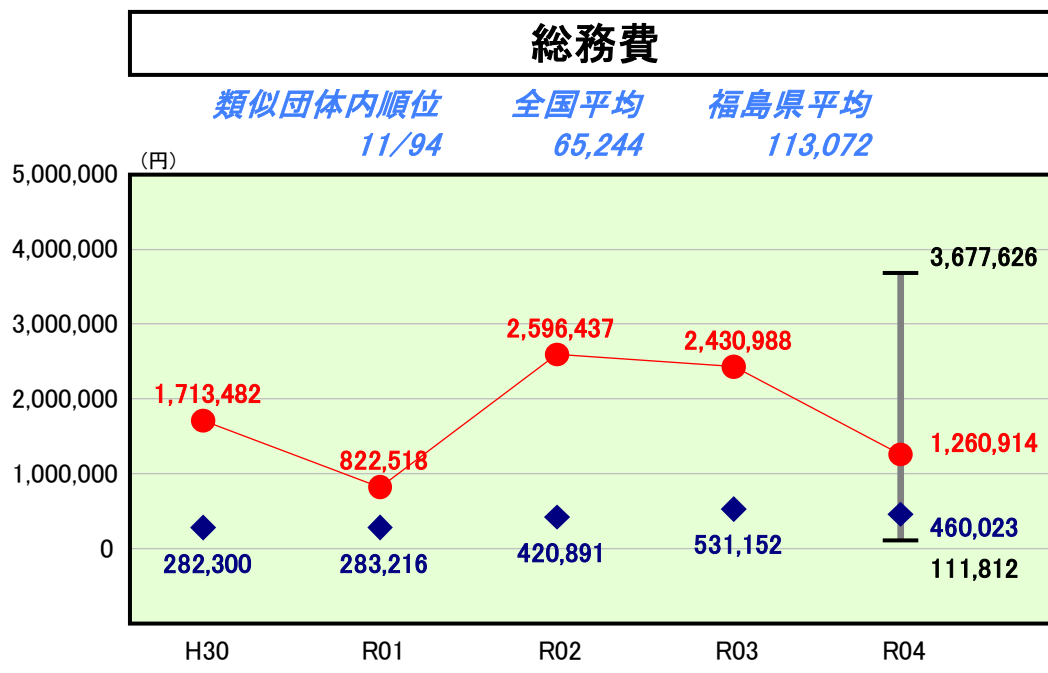
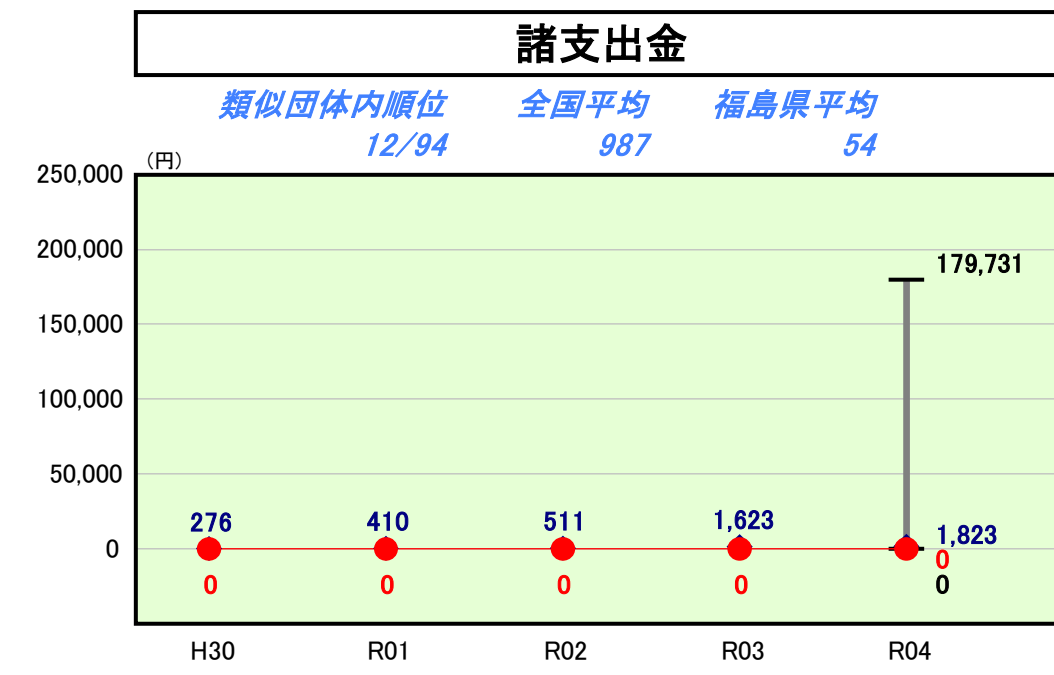
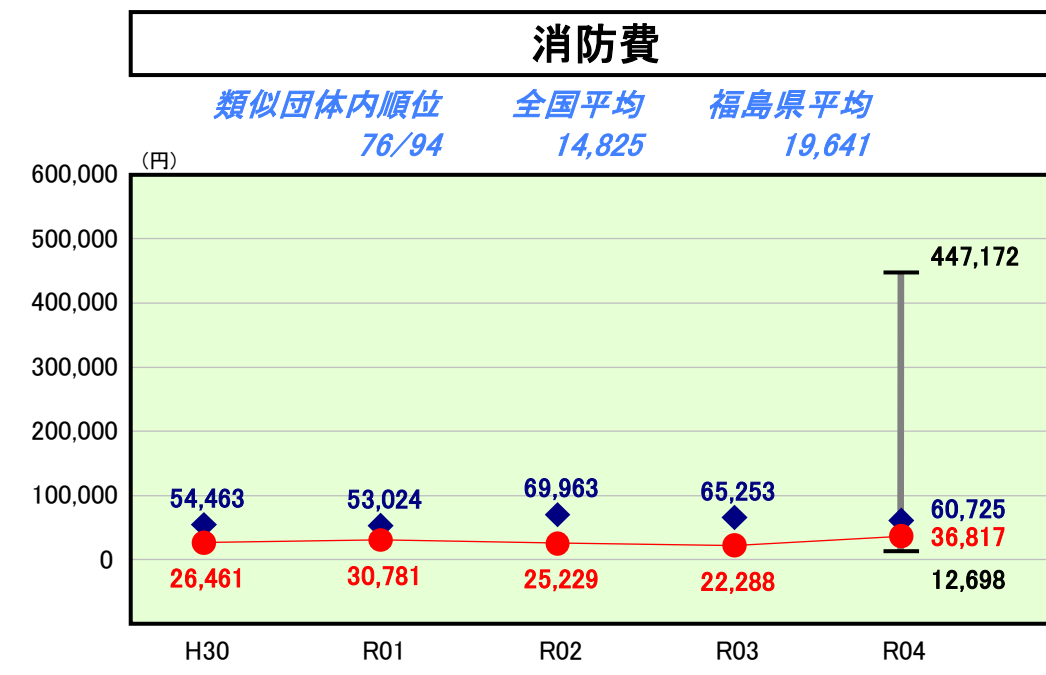
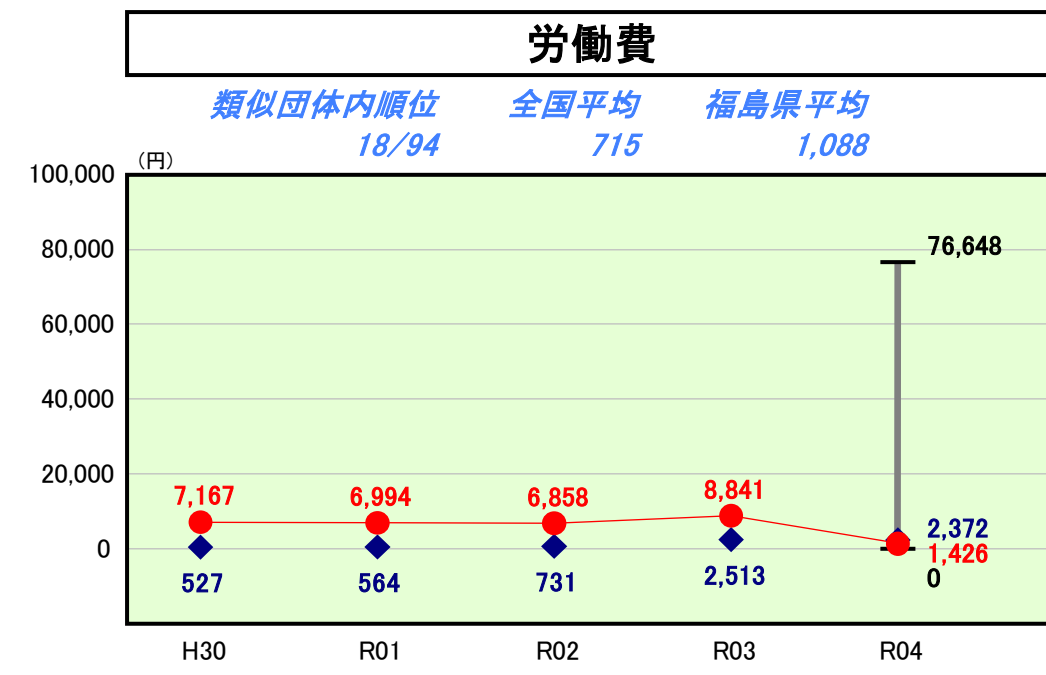
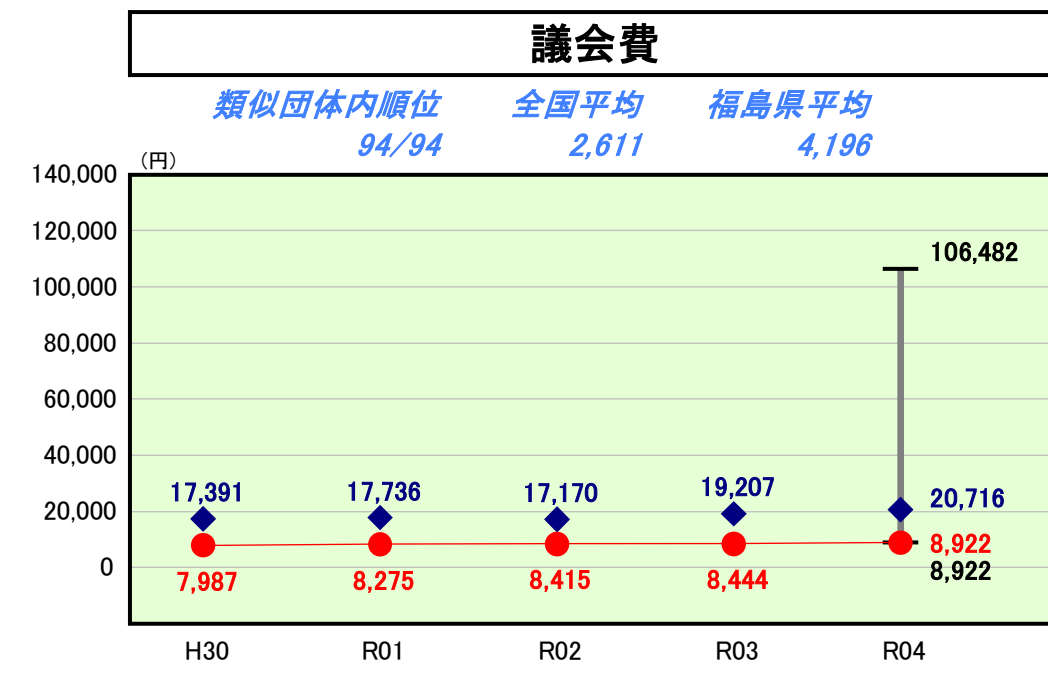
令和4年度

福島県大熊町

人口	10,002人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	9,958人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	78.71km ²	実質公債費比率	-1.8%
歳入総額	33,320,383千円	将来負担比率	-%
歳出総額	24,113,271千円	市町村類型	H30 I-0 R01 I-0 R02 I-0
実質収支	957,567千円	(年度毎)	R03 I-2 R04 I-2
標準財政規模	6,819,303千円		
地方債現在高	0千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┆ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析欄
 性質別と同じであるが、住民一人当たりのコストは2,410,850円となり、前年度と比較して1,398,538円減となった。
 要因としては、総務費で基金取崩事業のための積立金などが減少したことにより1,170,074円の減、土木費で復興拠点整備事業などの減少により前年度比276,236円の減、教育費で教育施設整備など89,469円の減により、住民一人当たりのコストが下がっている。
 なお、商工費では工業団地造成事業特別会計への繰上金などの増加により前年度比106,477円の増となっている。